

**授業場面における
児童生徒の様子に応じた
指導・支援シートの開発
—生徒指導的視点から—**



**岩手大学大学院教育学研究科
子ども支援力開発プログラム
教諭 佐藤和生**

はじめに

本シートは、小中学校の先生方へのアンケート調査をもとに、分析や検定を行い、その結果を反映させたものとなります。しかし、児童生徒への指導・支援の効果には個人差がありますので、本シートの効果の有無等につきましては、あくまで初期的な指導・支援の参考資料として捉え、目の前の児童生徒の実態に応じて指導・支援の計画を立て、実践していただければと思います。

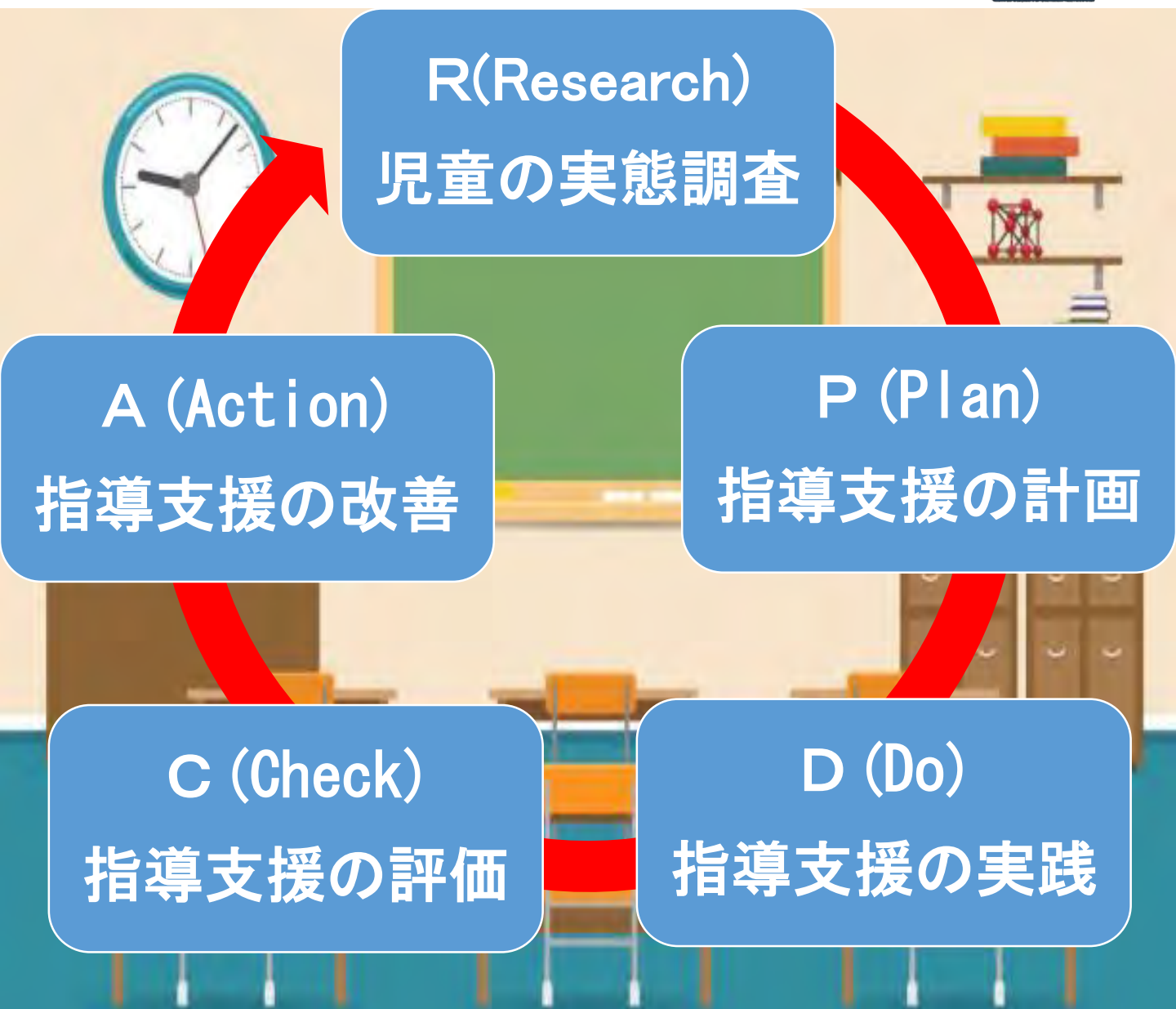


【指導・支援シート】

- | | | |
|---|-----|--------|
| 1 | 小学校 | Excel版 |
| 2 | 小学校 | Word版 |
| 3 | 中学校 | Excel版 |
| 4 | 中学校 | Word版 |

指導・支援シートの活用の流れ

指導・支援シートをもとに
日常的・短期的・中期的な
R P D C A サイクルを



1. 児童がどのような様子であるかを確認する。

①児童についてあてはまる数字に○をつけてください。 <性別> 1 男子 2 女子 <学年> 1 小学1年生 2 小学2年生 3 小学3年生 4 小学4年生 5 小学5年生 6 小学6年生	全 く あ て は ま ら な い あ ま り あ て は ま ら な い ど ち ら と も い え な い だ い たい あ て は ま る と と も あ て は ま る	他者配慮	理解表現	学習規律	自己制御
②その児童の様子について、「とてもあてはまる」～「全くあてはまらない」の5段階で判断し、右の白い欄に1～5のあてはまる数字を打ち込んでください。合計は自動で計算され、一番下の欄に表示されます。					
1 学習用具を準備できない	1 - 2 - 3 - 4 - 5			5	
2 グループ活動でわがままな行動をする	1 - 2 - 3 - 4 - 5	5			
3 自分の考えを文章に書くことができない	1 - 2 - 3 - 4 - 5		3		
4 友だちから注意や指摘を受けると反抗する	1 - 2 - 3 - 4 - 5	5			
5 板書を意図的に写そうとしない	1 - 2 - 3 - 4 - 5			5	
6 教師にへ理屈を言う	1 - 2 - 3 - 4 - 5	4			
7 学習の見通しをもつことができない	1 - 2 - 3 - 4 - 5		3		
8 学習活動を行おうとしない	1 - 2 - 3 - 4 - 5			4	
9 友だちに細かく注意や指摘をする	1 - 2 - 3 - 4 - 5	4			
10 板書を写すことができない	1 - 2 - 3 - 4 - 5			5	
11 手や物をいじっている	1 - 2 - 3 - 4 - 5			4	
12 分からないと文句を言う	1 - 2 - 3 - 4 - 5	5			
13 教師に必要以上に話しかける	1 - 2 - 3 - 4 - 5	5			
14 机の上を整理をしようとしな	1 - 2 - 3 - 4 - 5			4	
15 教師の発言の揚げ足をとる	1 - 2 - 3 - 4 - 5	3			
16 友だちの発言の揚げ足をとる	1 - 2 - 3 - 4 - 5	3			
17 簡単な問題を解くことができない	1 - 2 - 3 - 4 - 5		2		
18 友だちの学習の邪魔をする	1 - 2 - 3 - 4 - 5	5			
19 教科書を声に出して読むことができない	1 - 2 - 3 - 4 - 5		3		
20 指示や説明を理解できない	1 - 2 - 3 - 4 - 5		3		
21 授業に関係なく大きな声を出したり、騒いだりする	1 - 2 - 3 - 4 - 5	5			
22 すぐに人の答えを見ようとする	1 - 2 - 3 - 4 - 5	4			
23 自分の考えをうまく話すことができない	1 - 2 - 3 - 4 - 5		4		
24 指示をすぐ忘れてしまう	1 - 2 - 3 - 4 - 5		3		
25 教室を出ていく	1 - 2 - 3 - 4 - 5				3
26 間違ったりできなかつたりしたときパニックになる	1 - 2 - 3 - 4 - 5				3
27 友だちを巻き込んで関係のないことをする	1 - 2 - 3 - 4 - 5	4			
28 課題や問題の意味をつかむことができない	1 - 2 - 3 - 4 - 5		3		
29 教師が自分に注目しないといじける	1 - 2 - 3 - 4 - 5	4			
30 立ち歩く	1 - 2 - 3 - 4 - 5				3
31 ノートに落書きをする	1 - 2 - 3 - 4 - 5			5	
32 自分の意見を押し通そうとする	1 - 2 - 3 - 4 - 5	4			
33 活動や作業を行うことができない	1 - 2 - 3 - 4 - 5		2		
34 机の上の整理ができない	1 - 2 - 3 - 4 - 5			5	
35 友だちに嫌がらせをする	1 - 2 - 3 - 4 - 5	5			
36 簡単な課題に取り組むことができない	1 - 2 - 3 - 4 - 5		2		
37 教師に注意や指摘を受けると反抗する	1 - 2 - 3 - 4 - 5	5			
38 学習用具を準備しない	1 - 2 - 3 - 4 - 5			5	
39 教師や友だちが話しているのに、周りに話しかける	1 - 2 - 3 - 4 - 5	5			
40 既習事項を理解していない	1 - 2 - 3 - 4 - 5		3		
右の合計点は、シート【02児童の様子2】に自動的に反映されます。		75	31	42	9

2. 児童がどのような様子であるかを整理する。

児童の様子	標準化得点の算出	標準化得点
	シート【O1児童の様子1】に得点を打ち込むと、自動で計算され、レーダーチャートが完成します	
他者配慮	$(\text{合計点} \div 17 - 2.6) \div 1.4 + 5$	6.3
理解表現	$(\text{合計点} \div 11 - 3.0) \div 1.3 + 5$	4.9
学習規律	$(\text{合計点} \div 9 - 3.4) \div 1.4 + 5$	5.9
自己制御	$(\text{合計点} \div 3 - 2.2) \div 1.4 + 5$	5.6

標準化得点

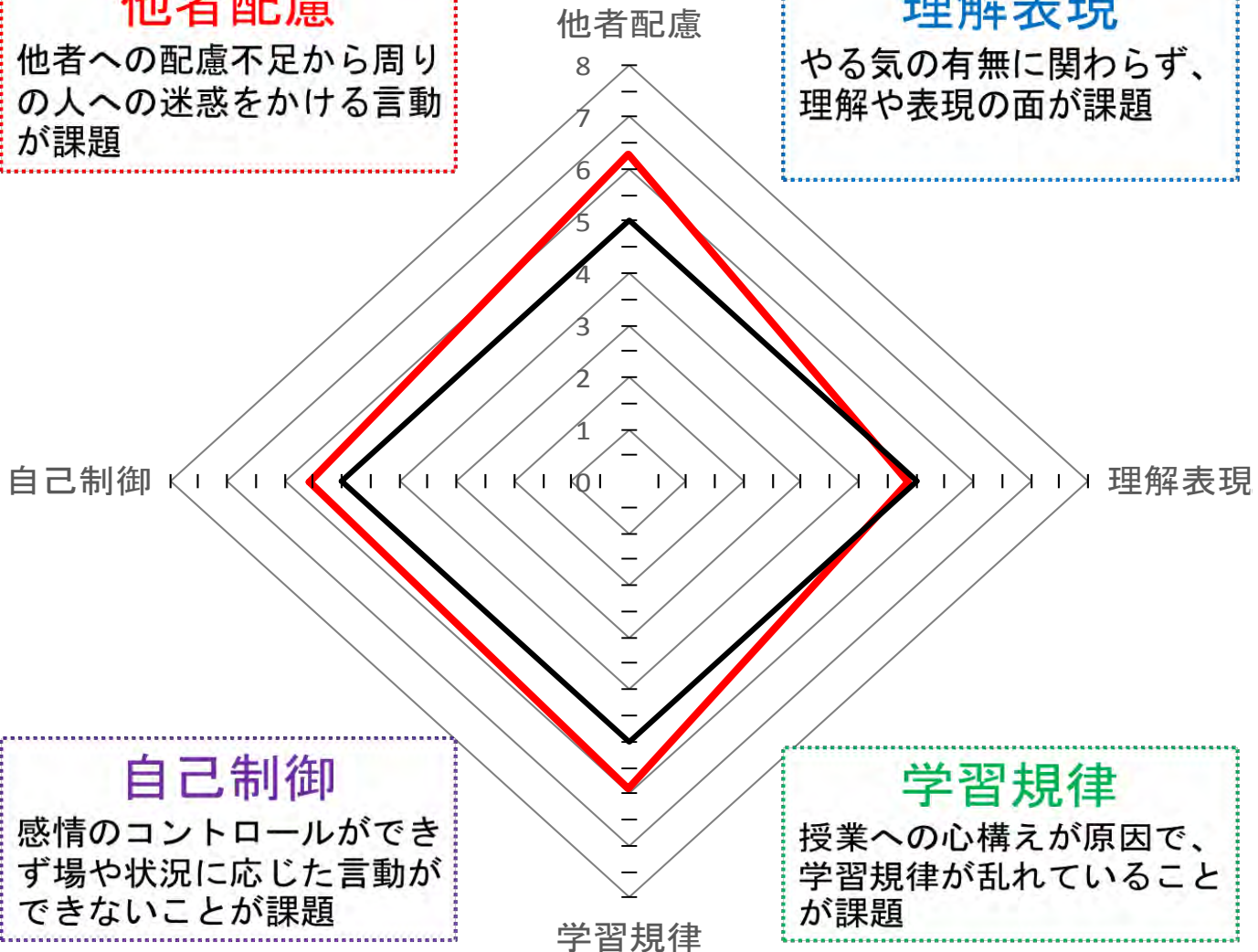
標準化得点の標準値は「5」です。それより数値が高いと課題が強い傾向と考えられます。

他者配慮

他者への配慮不足から周りの人への迷惑をかける言動が課題

理解表現

やる気の有無に関わらず、理解や表現の面が課題



自己制御

感情のコントロールができず場や状況に応じた言動ができないことが課題

学習規律

授業への心構えが原因で、学習規律が乱れていることが課題

3. 指導・支援方法について確認する。

指導・支援の内容	具体的な指導・支援内容の例	他者 配慮	理解 表現	学習 規律	自己 制御	全体
授業のルールを意識させる	<ul style="list-style-type: none"> 全体で授業のルールを確認する 本人に授業のルールを理解させる 授業のルールを掲示する 授業のルールを本人と確かめ合う 				○	◇
本人と個別の約束事をする	<ul style="list-style-type: none"> 分からなくなったら教師を呼ぶことにする 困ったときは隣にきいてよいことにする 私語をしたくなったら教師に教えることにする 両手を2回叩いたら注目することにする 					◇
指示内容が 理解できるようにする	<ul style="list-style-type: none"> 電子黒板や紙板書で視覚的に示す 活動リストを渡す 指示をペアで確認させてから活動させる 指示内容を理解したか本人に確認する 指示は短く端的に話すようにする 					◇
本人に応じた学習活動を 全体で行う	<ul style="list-style-type: none"> 本人が活躍できる活動を取り入れる 質問などを確認する時間を設定する つまずきそうなところを全体で確認する 少人数で教え合う活動を取り入れる 		○		○	◇
教材等を 関心が高まるように 工夫する	<ul style="list-style-type: none"> 本人の関心を考慮した資料を提示する 意欲がわくような題材を用意する 興味もてるように教具を工夫する 単調にならないように工夫をする 					◇
本人に合った 学習内容・活動に変える	<ul style="list-style-type: none"> 問題数を減らす 解けそうな問題に変える 本人と相談し解く問題を定める 板書を写すだけでもよいこととする 		○			◇
学習環境に配慮する	<ul style="list-style-type: none"> 掲示物の量を制限する ついたてを用意する 周りに座る子に配慮する 目の届きやすい席にする 					◇
課題や問題が 解決できるように 道具によって支援する	<ul style="list-style-type: none"> ヒントカードや答えを渡す 黒板の写真を撮って渡す 教科書等を読むときに指差しをさせる 					
課題や問題が 解決できるように 言葉によって支援する	<ul style="list-style-type: none"> 机間指導の際に解き方などを教える 補足説明したり、指示を繰り返したりする 間違っているところを一緒に考える 模範となる子を注目するように話す 解けそうかどうか確認する 		○			◇

※1 児童の様子（他者配慮・理解表現・学習規律・自己制御）の欄にある○は効果的、◎は特に効果的であるとされる指導・支援となります。

※2 児童の様子（他者配慮・理解表現・学習規律・自己制御）の欄にある△は、その様子の児童に効果が表れにくいとされているため、その指導・支援を行う場合には、慎重に行った方がよいとされる指導・支援です。

※3 全体の欄にある◇は、小学生であればその子の様子に関わらず効果的だとされる指導・支援の内容となります。

※4 効果には個人差等があります。上記の表はあくまで参考資料として捉え、実態に応じた指導・支援を行ってください。

指導・支援の内容	具体的な指導・支援内容の例	他者 配慮	理解 表現	学習 規律	自己 制御	全体
本人の行動を褒める	<ul style="list-style-type: none"> できたことや頑張ったことを褒める 立ち歩かなかったことを褒める ノートをしっかり書いたことを褒める 友だちの発言を認めたことを褒める 					◇
その場で 毅然とした態度で指導する	<ul style="list-style-type: none"> 理由を話しながら厳しく注意する 問題となる行動をやめるよう叱る みんなの前で厳しく指導する 不適切な行動をやめるまで指導を続ける 	○				
その場で 諭すように指導する	<ul style="list-style-type: none"> やめる（取り組む）ように声をかける 個別に話を聞きながら諭すように注意する 理由を話しながら諭すように指導する 正しい対応の仕方を丁寧に教える 	○		○		◇
別の場で指導する	<ul style="list-style-type: none"> 授業後に指導する 別の場で指導する 休み時間に別室で指導する 事前に、正しい対処の仕方を練習させる 後日、つまずいたところを個別に教える 	○		◎		◇
言動が収まるまたは、 しっかり取り組む ことを待つ	<ul style="list-style-type: none"> そのままの状態様子を見る 私語などを聞き流す 本人の言動に過剰に反応しない 視線などでやめるように合図だけ送る 相槌を打ちながら淡々と授業を進める 	◎	△		◎	
原因や理由を考える	<ul style="list-style-type: none"> つまずきの傾向を考える 行動の理由を尋ねる 観察しながら原因を考える 					◇
他の子に支援や配慮を お願いする	<ul style="list-style-type: none"> 隣の子に教えてあげるよう頼む 困っているときに助けてあげるよう頼む 何かあったら教師に伝えるよう頼む グループ活動の際に配慮するよう頼む 		○			
他の子に注意をお願いする	<ul style="list-style-type: none"> 隣の子にだめなときは注意するよう頼む しっかり活動しないとき注意をお願いする グループ活動で問題があるときは注意させる 	○			△	
本人の判断を大切にする	<ul style="list-style-type: none"> どうしたいか本人に判断を委ねる 行動のセルフチェックをさせる どこまで頑張れるか目標を設定させる 				◎	◇
他教員との連携を図る	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育コーディネーターに支援を求める スクールカウンセラーに支援を求める 個別に指導・支援に入ってもらう 	○			◎	◇

※1 児童の様子（他者配慮・理解表現・学習規律・自己制御）の欄にある○は効果的、◎は特に効果的であるとされる指導・支援となります。

※2 児童の様子（他者配慮・理解表現・学習規律・自己制御）の欄にある△は、その様子の児童に効果が表れにくいとされているため、その指導・支援を行う場合には、慎重に行った方がよいとされる指導・支援です。

※3 全体の欄にある◇は、小学生であればその子の様子に関わらず効果的だとされる指導・支援の内容となります。

※4 効果には個人差等があります。上記の表はあくまで参考資料として捉え、実態に応じた指導・支援を行ってください。

4. 児童への指導・支援の計画を立て実践する。

【指導・支援の目標設定】…シート01、02の児童の様子1、2を参考に目標を設定する。

文句を言うなどの他者配慮と、板書を写さないなどの学習規律の課題がととも高いが、気持ちをコントロールできない自己制御にも課題が見られる。まず、できるだけ周りに迷惑をかけないこと、パニックになっても冷静に対応できることを目標としていく。

【指導・支援の計画】…シート03、04の指導・支援方法1、2を参考に計画を立てる。

○他者配慮、学習規律、自己制御の3つで課題があるので、3つとも割と効果的だとされる方法として、他教員と連携しながら、別の場で指導する方法を基本としていく。

- ・授業や周りに特に迷惑をかけている場合には、支援員の先生に近くについていただく。
- ・授業後に担任からも、声をかけるようにしていく。
- ・パニックになった場合は、支援員の先生に別の場に連れて行っていただき気持ちが落ち着いたら、どうしたいか本人の判断を優先させる。
- ・あまりにもひどい状態であれば、その場でも適宜指導していく。

【指導・支援の実践】…上記の計画をもとに指導・支援を実践し、実践内容を記録する。

- ①算数などで問題が解けずに、周りにやつあたりをすることが多かったので、そういう場合は、支援員の先生が近くにつき、個別に解き方を教えたり、周りに迷惑をかけないように声掛けをしたりしていただいた。
- ②授業妨害がひどいときに授業後に注意をしたり、逆に分からなくても頑張っ取り組んだときは休み時間に褒めたりした。
- ③パニックになった場合は、支援員の先生に別の場に連れて行っていただき、気持ちが落ち着いたら、教室に戻るかどうかなどの判断を本人に決めさせた。

打ち込んでからプリントアウトして活用する、プリントアウトしてから手書きをするなど、紙媒体で活用してもいいですし、打ち込んでプリントアウトせずデータだけで活用しても構いません。やりやすい方法でご活用してください。

5. 児童への指導・支援を評価し今後活かす。

【指導・支援の評価・改善】…効果の有無や改善点などをまとめる。

- ①算数などで問題が解けずに、周りにやつあたりをすることが多かった
ので、そういう場合は、支援員の先生が近くにつき、個別に解き方を
を教えたり、周りに迷惑をかけないように声掛けをしたりしていただ
きた。
→支援員の先生についていただくことで、問題を解くことができ喜ん
でいた。そのときは気持ちも落ち着いていた。また、近くにいるだ
けでも効果があったように感じた。しかし、支援員の先生がいない
ときは、落ち着かないことが多かった。支援員の先生がいない場合
は、担任外の先生に入っていただくことも考えていきたい。
- ②授業妨害がひどいときに授業後に注意をしたり、逆に分からなくても
頑張っ取り組んだときは休み時間に褒めたりした。
→授業後に注意をするのは効果があったが、休み時間に褒めるのは効
果がなかった。何のことかよく分かっていないようだった。褒める
ときも授業後の方が効果的かもしれないので試してみたい。
- ③パニックになった場合は、支援員の先生に別の場に連れて行っていただ
き、気持ちが落ち着いたら、教室に戻るかどうかなどの判断を本人
に決めさせた。
→効果的であったが、これも支援員の先生がいないときは、大変だっ
た。事前に本人と約束事を決めておくことも考えていきたい。

全体的に、「人についてもらう」「個別に対応する」「本人の判断も
大切にする」の3つは効果があったように感じた。以前と比較し、周り
に迷惑をかけないこと、パニック時の対応の面で成長が見られた。今後
はさらに、自己決定や自己受容感を与える指導・支援を心がけていきた
い。



シートの活用による可能性

児童生徒の意識の向上
教師の指導力・支援力の向上
若手教員の参考資料
個別の指導計画との連動
わかる授業への授業改善
一人ひとりのつまずきに対応



おわりに

子どもたちにとって学校で過ごす大半は授業時間であり、教師が子どもたちと接する時間の多くは授業時間です。その授業時間に、達成感や有用感を得ることは、学校生活全体の充実にもつながることと思います。本指導・支援シートを活用することで、子どもたち、教師共に充実した学校生活を送っていただければ幸いです。

